

レースで決める!

# by 500馬力!!



バトルこそチューンドの生きる道。それならレースをやっちゃおうと並んだ最強クラスのマシン6台。そのうち2台はチューナー自らコクピットに収まり、プロドライバーと戦う! 波乱必至のHA恒例ミニレースの始まり!!

## 決勝レース①500馬力クラス エントリー・リスト

| 車名           | ドライバー |
|--------------|-------|
| マインズGT-R     | 太田 哲也 |
| ビーレーシングGT-R  | 茂木 和男 |
| トラスト・グレッティRX | 平田 清海 |
| HKS・FD3S・RS  | 瀬在 仁志 |
| トラスト黒豹スーブラ   | 川崎 哲哉 |
| トライアルGT-R    | 牧原 道夫 |

グッドドライバー相手に戦いを挑む!

戦前の予想では、筑波サーキットで熟成を重ねたマインズGT-Rと、N1レース用に作られたビーレーシングGT-Rが有利!

さて、栄えある第1回ホリデー杯チューンド日本カップを手にするのは?

## VS ゼロヨン&最高速仕様 VS N1マシン

マシンの「速さ」だけじゃなく、「強さ」を比べるなら、レースが一番! と、ばかりに今回も模擬レースでバトル能力チェックをフチかます。グリッドに付いたのは、いずれもレーシングカー並みの筑波ラップを誇るチューニングカー6台だ。

前列イン側から、マインズGT-R (太田選手)、ビーレーシングGT-R (茂木選手)、グレッティRX (平田選手)、後列はHKSのRX-7RS (瀬在選手)、トラスト旧スーブラ (川崎選手)、トライアルGT-R (牧原選手)。

「コーナーを制すれば、レースを制す、か!?

決勝レース①はラップタイム1分2秒~4秒台のパカッ速マシン6台による実質チューンドカーNo.1決定戦。ここに駒を進めたのは4台のスカイラインGT-RとRX-7 (FD3S)と旧型スーブラ (JZA70)の6台だ。このうち、トラスト・グレッティRX (GT-R)には平田さんが、トライアルGT-Rには牧原さんが、という具合に、チューナー自らステアリングを握って、レーシ

## 意地でも勝つ! 本番直前のプロドライバーズ・ボイス



瀬在仁志選手

N1耐久やミラージュカップで活躍中の我がセザイ。本誌の筑波LAPバトル・メインアタッカーの座にかけても負けられない! 「このレースに勝った人が次からのメインアタッカー? いやでしょ、何かあったらチューナーには一掃にあやまりましょ」



茂木和男選手

今年もグループAで大暴れ! F3000やグループCでの活躍は皆さんご存知のとおり。「え、チューナーも入って6台でレースするんですか? アブないですね、それはアブない!」なんて言いながらも、誰かが前にいると必ず抜こうとする。生粋のレーサー!



川崎哲哉選手

往年のドラッグチャンプは今、N1耐久やJSSでサーキットを疾走中。コーナーも速いんだ。「ボクはライトチューンが好きなんです。500馬力の旧スーブラ? 怖いナア...」なんて言ってるが、ウソだ。ハイパワーチューンドに乗り換える暇はない!



太田哲也選手

F3000やグループA、グループCの経験アリのバリバリ・レーシングドライバー。今年はルマン24時間フェラーリ348でチャレンジしたが、ウォームアップ走行中にブツけられちゃって...「筑波はボクの庭みたいなモン。見てて下さいヨ!」